

## ちょっぴり緊張の対面式

H30年4月9日(月)

同じ敷地にある高知西高校の先輩たちとの対面式を行いました。新入生を代表して1年Aホームの吉村南海さんから、「先輩方の築き上げてきた伝統を守りながら、高知国際中学校の生徒として魅力ある学校にしていきたいと思います。これからどうぞよろしく願いいたします。」とご挨拶。高知西高校の生徒会長八月一日(ほづみ)君からも、心強い歓迎のことばをいただきました。高知西高校の先輩たちからいただいたお花が新しい教室に癒しと安心をくれています。ありがとうございました。

## スマートに制服を着こなそう！

H30年4月9日(月)

4時間目は、管公学生服株式会社様にお越しいただき、「制服着こなし講座」を開講。「制服は、安全の確保、着装マナーを学ぶ教材、学生としての自覚を養う意味を持つ」と学びました。ジャケットの下の端のボタンは留めない方がよいことやお辞儀をしながら言葉を発しない方がよいことなども新鮮な学びでした。最もよめいたのは「人の第一印象は、たったの6秒で決まる」ということ。クールに制服を着こなしましょう。



相手を見て「ありがとうございました」と言ってからお辞儀。

## 一人一台学習用に iPad を活用！ H30年4月9日（月）

今の時代、情報端末を上手に活用するスキルも必要です。一人ひとりに新品の iPad とアカウントが発行され4月9日（月）5時間目は Apple Japan の播さんを講師にお招きして、基本操作を学びました。あふれる情報にふりまわされず、相手をおもんぱかった使い方のできる地球市民になりましょう。



## 第1回学年集会校長先生からのお話 H30年4月11日（水）



「朝から大冒険をしてきたみんな。親指で今の気持ちを示してみよう。」という校長先生のお声かけで、親指の角度で「今の気持ち」を表してみました。まっすぐ上を向いた GOOD!の人、少し傾いた人、そしてなぜだか下に向いている人。

「それでいいんです。ただ、いつもみんなが GOOD じゃない。いつもみんなが同じ気持ちではないということを理解して過ごしましょう。」というお話があり、なごやかな空間になりました。

本校では、生徒、教職員、保護者のみなさん全員で

「10の学習者像」を大切にします。



## H30年度1年生4月 ～今の自分が近いと思う学習者像は？～

・心を開く人	1名
・信念のある人	2名
・バランスの取れた人	2名
・振り返りのできる人	2名
・探究する人	4名
・知識のある人	4名
・考える人	5名
・思いやりのある人	8名
・コミュニケーションのできる人	8名
・挑戦する人	24名

自分はどの学習者像に近いのか、なぜそう思うのか、

自分のことばで出しました。例えばS君は

自分は「心を開く人」だと思う。言いにくいことも嫌なこともできるだけ心にためないで親にも友達にも話してきて、それが「よかったと思うから。」



そんな自分を育ててくれた人たちは、どう思っているのでしょうか。サプライズで

お手紙をいただきました。開封し、お手紙を読みながら照れくさそうな人、真剣

な表情の人、目を潤ませている人、様々な表情が見られました。

例えば、あるご両親からは

あなたは「考える人」に一番近いと思います。今は何をするときかを理解し、自分の役割に責任を持ってやり遂げられていると思います。また相手の気持ちを考えられるからお礼のことばや挨拶が素直にできるのだと思います。

いつも応援している。信じている。失敗していいんだよ。大丈夫。どのお手紙も、そんな言葉であふれていました。中には、ご親戚やお知り合いの方みんな、一言ずつメッセージを書いてくださっているお手紙もありました。「親や他の人が見て、私にあてはまる学習者像が違っていたけど、自分を見てくれているんだと思って感動した。」「思いやりがある人だと親が思っていて嬉しかった。」といったコメントが聞かれました。子どもたちは、絶対的な愛情で見守られていることを改めて感じたことと思います。周りの人からのコメントは大切な宝物です。



改めて、今後なりたい学習者像に近づくために、どのように「行動」するのか、言葉にして、友達とお手紙をくれた人に宣言を書きました。

【知識のある人】本を読みます。ジャンルはこだわらないで色々なことを知りたいので、いろんな本を読みます。一学期は 10~15 冊読み上げることが目標にします。ニュースやネットで話題になっていることもチェックします。

宣言したことに対して、周りの人から応援のコメントをいただきました。宣言の日から 10 日が経ちました。さて、みんな実行にうつせているでしょうか。

## IB 理解～「知っている」と「わかる」は同じ？～H30年4月11日（水）

いよいよ授業が始まります。IB 理解の最後は、学習の基本となる「探究」とは、どのようなことなのかを考える時間でした。その中で、学年主任の堀先生から投げかけられた問い。「知っている」と「わかる」というのは同じだろうか？違うならどう違うのだろうか？」思わず「ん？」「違うけど・・・え～と・・・」言葉にできそうでできない時間が流れました。

自分が知っている、もしくは わかっていると思っていることでも、他の人に聞いてみると実は全然違う理解だったりします。そんないろんな発想は、ひとりではなかなかできません。だからたくさん考えてたくさん話して、みんなで一体となって賢くなっていきましょう。



## 気を付けよう SNS の使い方

H30 年 4 月 12 日 (木)

株式会社 KDDI ケータイ教室認定講師 内田 恵利子様をお招きして、「スマホ・ケータイ安全教室」を行いました。実話や動画を交えながら大変わかりやすくお話いただきました。ラインやツイッターなど短い単語のやり取りでは、表情や音声のない文字だけの判断によって、思わぬ誤解が生じ、トラブルになりやすいことを再認識しました。丁寧に伝えることや、常日ごろのコミュニケーションが大切だと学びました。また、インターネットは便利だけれど、ワンクリックで世界中に配信されて、二度と取り消せず、無制限に拡散されていく怖さも知りました。ラインスタンプの事例の動画では、どんどんネットの罠にはまっていく様子が紹介され、見終わった時には、「怖い～」という声があちこちから聞こえました。私たちは、うっかりしていると、簡単に被害者にも加害者にもなってしまいます。日ごろから、緊張感をもって使っていきましょう。